

ベルギー、イーペル

Calis Bram

青少年国際平和未来会議 2017に参加できたことは、私にとって素晴らしい経験となりました。非常に短い時間ではありましたが、お互いについて多くを学ぶことができました。平和推進を目的として開催された、この会議では、10 日間でお互いの文化を学び、共に大切な事を考え、参加者一人一人の人物像を知ることができました。

最初の 8 日間で、開催都市の文化について学んだことは、私にとって非常に重要でした。私達は平和記念式典に出席し、茶道を体験し、神社をいくつか訪れ、ホストファミリーと一緒に暮らし、日本食を味わうことができました。朝食と夕食を一緒に取り、自由時間も共に楽しむことで、お互いのことをよく分かり合えたので、後のグループ・ディスカッションがやりやすくなりました。

平和記念式典では、少しショックを受けました。なぜなら、地元の方々はみんな、この悲劇を覚えているほど、広島が今まで受けた一番大きな被害だったのです。そして、世界中の人たちも、知っているほどの悲劇でした。その翌日、私達は平和記念資料館を訪れ、広島の歴史について、さらに理解を深めました。

8 月 8 日、私達は茶道を体験しました。この体験は、私にとって非常に特別なものとなりました。特殊な靴を履き、庭園を歩き、美しい建物に入り、そして、和菓子と抹茶をいただきました。長時間、正座するのは大変でしたが、なんとか座っていることができました。

私にとって、一番難しかったのは、この青少年平和会議の参加者がそれぞれ異なる言語を話していることでした。みんな英語は少し話せましたが、よく話せる人もいました。英語を思い切って話す人もいましたが、話さない人もいました。

しばらくたって、英語になれてきたので、他の参加者と話しやすくなり、彼らのことをもっと知ることができました。

そして最後の 2 日間、グループになって話し合いをし、平和についての答えを得ようとなりました。このプロセスは、私にとって非常に特別なものでした。結局のところ、これが青少年平和会議のメインのゴールだったのです。一番大切なことは、各メンバーの街や国の平和にまつわる経験を聞くことでした。熱心な雰囲気、ポジティブなエネルギー、そして平和に対する考えを出し合うことで、お互いに刺激を与えるようにしました。

会議で得た考えを地球の反対側であるベルギーに持ち帰り、解決法を見出す努力をするつもりです。私達のピース・リーダーは、すでに他の街とイーペルで交流を始めています。もちろん、私も日本での経験の後、この活動をオーガナイズするため、リーダーを手助けしようと思っています。広島で私達が得た考えは、イーペルにも伝えます。また、ベルギーでの交流活動の時、このプログラムに参加した時の話をするつもりです。アジアを旅した後、多くの人に私の経験を話しました。青少年議会、私の学校、そして私の青少年

の活動団体、そして友人や家族にも私のプレゼンテーションを見せました。

11月11日、イーペルの平和賞が White Helmets に授与されます。この賞は、イーペルの若者が投票して、4年おきに授与されます。